国際交流ガイドブック

もっと日本を。もっと世界へ。

國學院大學

短期留学参加

児島 瑞貴

経済学部経済学科在学中

２年次の夏休みにアイルランドにあるダブリンシティ大学へ１か月の短期留学に参加しました。「現地の英語に、できるだけ長い時間触れていたい」と思い、寮生活ではなくホームステイができるプログラムを選びました。授業では発言を求められることが多く、強く実感したのは、恥ずかしがらず自ら行動していく積極性の大切さです。同じクラスで学ぶイタリアやブラジルの留学生が、どんどん自分の意見を発言する姿に刺激を受けました。また、帰国後は英語に取り組む時間が増え、授業で発言することも多くなりました。短期留学はいいきっかけになったと思います。航空管制官という夢に向けて、今後は留学にもまた挑戦し、英語力をさらに伸ばしていきたいと思います。

協定留学参加

川合 陵平

法学部法律学科在学中

３年次後期から４年次前期にかけて、アメリカのビンガムトン大学へ協定留学中です。留学を志した理由は、海外に強い憧れを抱いていたことと、政治専攻で政治を学ぶうちに「アメリカに行って様々な国の学生から政治に対する生の声を聞きたい」と思うようになったからでした。実際に現地で多くの学生との交流を通して、海外から見た日本に対する印象や、日本と他の国々との違いや、様々な国の内状を知ることができました。

ビンガムトン大学のキャンパスは自然豊かで、週末などにはマンハッタンへ行ける距離に位置していることなどからアメリカの規模の大きさや文化を直接感じることができます。大学では一般の学生と同じ授業を受けていますが、ひとつの授業で取り扱う内容の多さや日々与えられる課題の量から、授業に付いていくことで精一杯になり、留学が始まった当初は戸惑うことが多かったです。しかし、そういった毎日を過ごすことで、自分が今やるべきことの優先順位を考えながら時間の管理をして生活することが大切であるという実感を持つことができました。周りの学生と共に授業の復習や課題に苦しみながらも楽しむときは思いっきり楽しんで、今では充実した生活を送ることができています。結果として、ビンガムトンでの生活は自分のこれまでの生き方や物事に対する捉え方など、すべてを見つめ直すきっかけとなる刺激的な時間でした。留学することへの憧れを諦めなくて正解だったと感じています。

休学による私費留学を経験

奥墨 愛美

人間開発学部子ども支援学科在学中

３年次終了後に約８ヶ月間オーストラリアの語学学校に留学をしました。休学留学を選んだのは、セメスター留学では短すぎる、かといって協定留学の学内選考を受けるには語学力が不足していたからです。留学では英語はもちろん、異文化について多くのことを学びました。自分が思っている当たり前が相手にとってはそうでない、その人が大切にしているものは何か、ということを理解していきました。一番印象に残っている出来事は、ルームシェアをしていたコロンビア人の子と喧嘩をしたことです。原因は些細なことだったのですが、お互いの言い分が違いすぎてどうにも収集がつかなくなってしまいました。喧嘩をしてしまったことは残念ですが、その時に英語でしっかりと立ち向かえたことは嬉しかったです。

このように、生活をする上で苦労することはもちろん多くあったのですが、自分の英語力が上がるにつれ、友達との関わりもより濃いものになり、一緒に旅行をするなど、たくさんの思い出ができました。

留学を通して、自分自身が大きく成長したなと心から実感しています。言いたいことを以前よりもはっきりと言えるようになったし、何より自分に自信がつきました。それは、常に向上心を持って勉強し、遊びも勉強と何事にも積極的に行動していたからだと思います。

私は、留学に限らず自分がやりたいと思ったことは何でもやってきました。やって後悔したことは一度もありません。もし今留学をしようか迷っているという人は、是非挑戦してほしいと思います。きっとあなたにしか経験のできない素敵な時間が待っています。

セメスター留学参加

木村 千夏

文学部中国文学科在学中

大学で学んだ中国語を国際都市上海で磨きたいと考え、２年次後期に中国・復旦大学のセメスター留学に参加しました。

テストをもとに分けられた難易度別のクラスで、各国の留学生とともに受けた授業はすべて中国語で進み、ごくたまに英語での解説となります。当初は聞き取るのに苦労しましたが、先生は分かりやすい言葉を選んで話してくれるのですぐ慣れました。学生同士でディスカッションする授業もあり、相手に伝わるよう一生懸命話すのは楽しかったです。

授業だけでなく、留学生を対象としたイベントにも積極的に参加しました。そこでできた友達はかけがえのないものだと思います。元来やや消極的な性格でしたが、多様なバックグラウンドの人達と交流することで、積極的な性格になったと思います。語学を身につけるには相手にどうにか伝えようという良い意味での図々しさが大切だと学びました。

帰国を前に、もっと中国語を上達させたいという思いが強くなったため、次は天津の南開大学で１学期間の協定留学をすべく、帰国後すぐ学内選考を受けました。今年９月に再び留学します。将来は、中国語を使う、国際的な仕事に就きたいと考えています。

日本語教育実習　参加

柳井 友紀菜

文学部日本文学科在学中

日本語教育（日本語教員養成課程）を副専攻としており、３年次の夏休みに台湾の南台科技大学にて２週間の実習をしました。８名の参加者で“駄菓子”と“ことわざ”をテーマに授業を準備し、台湾の大学生に日本語を教えました。教室に駄菓子店を作って買物の会話表現をロールプレイングするなど、内容に緩急を付けて授業を構成した甲斐あってか、学生たちは楽しみながらも真摯に取り組んでくれました。感慨深かったのは、２週間の実習でも彼らの成長をしっかり感じられたことです。最終日には私たちが教えたことわざを使って日本語で感想を書いてくれた学生もいました。この実習で、日本語教師という仕事のやりがいを垣間見られた気がします。

目次

I. 留学を考える — 2

「留学」といっても、その目標･目的、行き先、期間は様々です。今、自分がぼんやりと持っている「留学」のイメージを具体化し、自分に適した「留学」実現へ向けて、第一歩を踏み出しましょう。

STEP 1 現在の自分を知る（自己分析） — 2
STEP 2 留学の目的や留学先を考える — 2
STEP 3 留学スケジュールを計画する — 3
STEP 4 留学に必要な費用を計算する — 4
STEP 5 留学までに必要なことを確認する — 5
STEP 6 留学前の諸準備をチェックする — 5

II. 國學院の留学プログラム — 6

國學院大學では、短期留学（長期休暇期間中の４週間の留学）、セメスター留学（学期中の４カ月の留学）、協定留学（交換留学生としての協定校への留学）を実施しています。それぞれの目的、自分にとっての長所・短所を理解して、自分に適した留学であるかどうかを考えましょう。

A. 夏期・春期短期留学 — 7
B. セメスター留学 — 9
C. 協定留学 — 12

III. 休学による海外留学 — 13

休学制度を利用して留学を行うことも可能です。制度を正確に理解したうえで、自分にとって有効な手段であるかどうかを考えましょう。

IV. 学内奨学金情報 — 14

國學院大學の設ける給費型の奨学金をご紹介します。

V. 留学のための情報収集 — 15

自分に適した留学を計画するためには、留学情報の収集が非常に大切です。 東京で、そして Web 上で利用可能な情報源を紹介します。

VI. 国際インターンシップ — 16

留学以外にも、グローバルに活躍するための海外経験を積むことを目的とした海外インターンシップ、日本語教育実習スタディツアー等があります。

A. 海外インターンシップ — 16
B. アメリカ初等教育・幼児教育ボランティア TA 研修 — 17
C. 日本語教育実習スタディツアー — 17

Ⅶ. キャンパスでの国際交流 — 18

留学生との交流は留学だけが手段ではありません。渋谷、たまプラーザのキャンパスで本学の留学生との交流が日々行われています。キャンパスでの国際交流に積極的に参加してください。

Ⅷ. グローバル・チャレンジ・プログラム — 19

日本文化を世界に発信できる知識と技能を身につけた國學院大學にふさわしいグローバル人材を育成するためのプログラムです。授業からだけでなく、留学や課外活動等、グローバル人材に向けて総合的な基礎力を身につけることを目的とします。

A. グローバル・チャレンジ・プログラムとは — 19
B. グローバル・チャレンジ・プログラム申請方法 — 19
C. ＧＣＰセルフ・チェックシート — 20

I. 留学を考える

留学にはあなたの人生をより充実したものにする力があります。しかしその一方で、「海外に行けば語学が上達する」「海外で夢がかなえられる」と考えて安易に留学してしまうと、現地で大変な苦労をしたり、期待した効果が得られないまま帰国することも少なくありません。せっかくの留学なので、充実した留学生活を送り、その経験を就活や将来に活かしたいと思いませんか？

そのためには、留学の計画段階から、現在の自分の強みや弱みを考えるとともに、将来、どんな自分になりたいのかをイメージしたうえで、留学で何がしたいのか、何をすべきか等、留学の目的をはっきりと意識することが大切です。

このワークシートは「自分の思い」を「見える化」するためのものです。しっかりと準備して留学を成功させましょう！

STEP 1 現在の自分を知る（自己分析）

- スキル、自分の強み・弱み
- 具体的になぜそうなのか／そこに至るためにどのようなことをしてきたか？
- 今後どうしていきたいか？
- 他人からの意見は？

STEP 2 留学の目的や留学先を考える

- 留学の目的（例：語学力を上げる、専門分野を学ぶ、外国人の友人をつくる）
- 卒業後の進路に、留学をどのようにつなげられると思いますか？
- 留学の目標
- 留学先は？
  - ① 国・地域・学校（例：語学学校、コミュニティカレッジ、大学 等）
  - ② なぜその国・地域・学校なのか？
- その他、考えている条件

STEP 3 留学スケジュールを計画する

留学・学生生活の計画ワークシート

2018年	2020年	2022年
1月	1月	1月
2月	2月	2月
3月	3月	3月
4月	4月	4月
5月	5月	5月
6月	6月	6月
7月	7月	7月
8月	8月	8月
9月	9月	9月
10月	10月	10月
11月	11月	11月
12月	12月	12月

2019年	2021年	2023年
1月	1月	1月
2月	2月	2月
3月	3月	3月
4月	4月	4月
5月	5月	5月
6月	6月	6月
7月	7月	7月
8月	8月	8月
9月	9月	9月
10月	10月	10月
11月	11月	11月
12月	12月	12月

STEP 4 留学に必要な費用を計算する

留学期間＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日　～　＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

留学先　（国）＿＿＿＿＿＿＿＿（地域）＿＿＿＿＿＿＿＿（学校）＿＿＿＿＿＿＿＿

支 出

（ア）留学費用

- ・授業料 ＿＿＿＿＿＿円
- ・教材費 ＿＿＿＿＿＿円
- ・宿舎費 ＿＿＿＿＿＿円
- ・食費 ＿＿＿＿＿＿円
- ・交通費 ＿＿＿＿＿＿円
- ・通信費 ＿＿＿＿＿＿円
- ・小遣い ＿＿＿＿＿＿円

合計 ＿＿＿＿＿＿＿＿円

（イ）留学準備費用

- ・航空運賃 ＿＿＿＿＿＿円
- ・海外留学生保険 ＿＿＿＿＿＿円
- ・査証等 諸手続き費用 ＿＿＿＿＿＿円
- ・健康診断費用 ＿＿＿＿＿＿円

合計 ＿＿＿＿＿＿＿＿円

（ウ）留学中の日本での費用

- ・國學院大學学費 ＿＿＿＿＿＿円
- ・その他費用 ＿＿＿＿＿＿円

合計 ＿＿＿＿＿＿＿＿円

支出合計 ＿＿＿＿＿＿＿＿円

資 金

- ・自己資金 ＿＿＿＿＿＿円
- ・家族からの資金 ＿＿＿＿＿＿円
- ・奨学金１（　　） ＿＿＿＿＿＿円
- ・奨学金２（　　） ＿＿＿＿＿＿円

資金合計 ＿＿＿＿＿＿＿＿円

STEP 5 留学までに必要なことを確認する

年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	

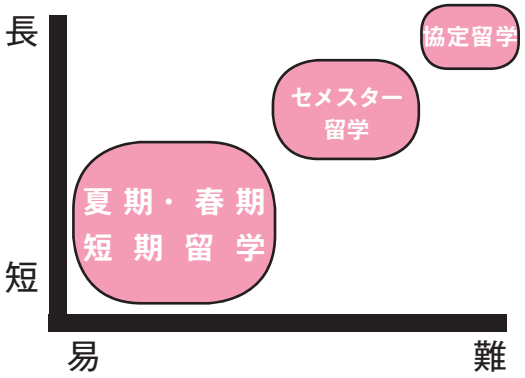
STEP 6 留学前の諸準備をチェックする

1．留学に必要な資金は確保しましたか？　（ Yes ・ No ）
2．留学先の学校の入学許可書は入手しましたか？　（ Yes ・ No ）
3．留学に必要な査証（ビザ）は取得しましたか？　（ Yes ・ No ）
4．留学に行く時期（日時）は決めましたか？　（ Yes ・ No ）
5．留学中に滞在する宿舎（ホームステイ先 等）は決まりましたか？　（ Yes ・ No ）
6．航空券は手配しましたか？　（ Yes ・ No ）
7．海外旅行傷害保険に加入しましたか？　（ Yes ・ No ）
8．（大学を休学する場合は）休学手続きと学費減免手続きは済ませましたか？　（ Yes ・ No ）

Ⅱ. 國學院の留学プログラム

國學院大學で行っている留学プログラムを大きく分類すると下記の３種類となります。
大学のプログラムは単位認定が可能である等の利点がある反面、選択の幅は限られます。

平成３０年度留学プログラム一覧



A. 夏期・春期短期留学（p.7 参照）

夏休み・春休みの４週間留学。語学研修と文化体験が主目的

夏
- ダブリンシティ大学（アイルランド）
- ケープブレトン大学（カナダ）
- マニトバ大学（カナダ）
- 南台科技大学（台湾）
- デュースブルク＝エッセン大学（ドイツ）
- 西部カトリック大学（フランス）

春
- セントマイケルズ大学 (米国)
- アジアパシフィック テクノロジー＆イノベーション大学（マレーシア）
- 復旦大学（中国）

B. セメスター留学（p.9 参照）

学期中の４カ月留学。中級の語学学修者が上級を目指すことが主目的

英語圏
- クライストチャーチ工科大学（ニュージーランド）
- マニトバ大学（カナダ）
- ミズーリ大学（米国）

中国語圏
- 南台科技大学（台湾）
- 復旦大学（中国）

C. 協定留学（p.12 参照）

２学期間、または１学期間の協定校への交換留学。現地の学生と同じ学部授業を履修する留学と、現地の言語を学修する語学留学があり、目的は留学先協定校により異なります。

◆ 短期留学、セメスター留学先大学協定校所在地

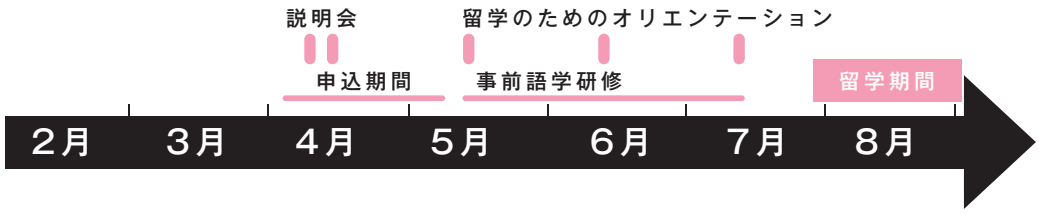
A 夏期・春期短期留学

本学では長期休暇中に「短期留学」を実施しています。
外国語能力向上を目指して、集中的に語学を勉強する４週間の留学入門プログラムです。

概要

➢ **主な参加資格**	事前研修に参加できる本学学生が対象です。
➢ **募集**	掲示および Web でお知らせします。 募集要項は国際交流課などで配布します。 説明会を募集時期に実施します。 （国際交流課でも随時プログラムの説明をいたします。）
➢ **単位認定**	原則として、教養総合科目２単位として履修登録（単位認定申請）することができます。但し、春期短期留学については、４年生は単位認定できません。
➢ **事前研修**	留学出発前に事前語学研修 10 回程度と留学オリエンテーションを３～４回行います。

◆ 夏期短期留学申込み・参加スケジュール例
(5 月中旬が参加申込み締切り予定です。)



◆ 短期留学日程例（プログラムにより異なります）

第１週	日：成田空港出発・現地到着 月：クラス分けテスト、キャンパスツアー 火：授業開始 週末：近郊に小旅行
第２、３週	月～金：授業日 9:00-15:00 授業 15:00-18:00 スポーツ、買物など 19:00-　　宿題、洗濯など 週末：市内散策、近郊に小旅行など
第４週	月～木：授業日 金：最終試験、修了式、お別れパーティ 土：大都市に移動 日：日本へ向け出発

1. 夏期短期留学

夏期短期留学は各年度４月に募集、説明会が行われ、５月中旬が参加締切となります。
平成３０年度は、次の６大学で短期留学が実施される予定です。

a. ダブリンシティ大学（アイルランド）

アイルランドの首都ダブリンにて 1975 年設立。約 16,000 人がダブリン市内の３つのキャンパスで学ぶ国立総合大学で、国際的な評価も高い。質の高い英語プログラムが年間を通して運営されており、日本以外にもヨーロッパ各国、アジア各国からも留学生が集う。
平成 30 年度の参加費は 56 万円を予定。（航空券、海外旅行保険料、事前語学研修、現地での研修参加費・ホストファミリー滞在費等を含む。昼食と現地交通費は含まない。）

b. ケープブレトン大学（カナダ）

カナダの東端ノバスコシア州にある 1851 年創立の州立大学。学生 3,500 名のうち約 1,000 名が留学生と国際色が強い。前半２週間は、教室での授業以外にフィールドトリップ・小旅行も計画。後半２週間は、他の留学生と共にレベル別授業に参加する。
平成 30 年度の参加費は 58万円を予定。（航空券、海外旅行保険料、事前語学研修、現地での研修参加費･ホームステイ滞在費等を含む。昼食と現地交通費は含まない。）

c. マニトバ大学（カナダ）

1887 年創立の、カナダ西部で最も伝統のある州立総合大学。レベル別に組み立てられたプログラムで総合的に英語を学ぶ。世界各地からの留学生と授業や課外活動を通じてグローバルな交流もできる。
平成 30 年度の参加費は 51万円を予定。（航空券、海外旅行保険料、事前語学研修、現地での研修参加費･キャンパス学生寮宿舎費、主な食費等を含む。）

d. 南台科技大学（台湾）

台湾、台南市の北東部にて、1969 年に創立された総合大学。在来線「台南」駅から約 4㎞の場所にあり、都市部の利便性と農村ののどかな雰囲気が融合した環境、中国語教育を専門とする南台科技大学中国語センターで中国語を学ぶ。
平成 30 年度の参加費は 29万円を予定。（航空券、海外旅行保険料、事前語学研修、現地での研修参加費・宿舎費を含む。食費と現地交通費は含まない。）

e. デュースブルク＝エッセン大学（ドイツ）

1891 年に創立したデュースブルク大学がエッセン大学と合併し、2003 年にデュースブルク＝エッセン大学となった。総合大学で、学生数約４万人のうち、留学生が約 18%を占める。プログラムではエッセンキャンパスに滞在し、近郊の地域への訪問も行い、ドイツの歴史・文化も探究する。

f. 西部カトリック大学（フランス）

1875 年創立の神学・宗教学部、教育学部、人文社会科学部、理学部、商経学部から成る総合大学。プログラムでは、大学付属の国際フランス語教育センター（CIDEF）にて、文法、読解、作文からリスニング･スピーキングを通して、フランス語の総合的な能力向上を目指す。また、週末の課外エクスカーションでフランスの歴史や文化を知る。

2. 春期短期留学

春期短期留学は各年度 10 月に募集、説明会等が行われ、11 月下旬が参加締切となります。
平成３０年度の留学先は未定です。平成２９年度は下記３大学に向けての短期留学が企画されました。

a. セントマイケルズ大学（米国）

Saint Michael's College は 1904 年創設の私立カトリック系リベラル・アーツ・カレッジで、英語教育の分野での評価も非常に高い。バーモント州最大の都市バーリントンの中心街までバスですぐという便利な立地であると同時に、西に Lake Champlain、東に Green Mountains などの山々と、大自然に恵まれた環境に位置する。近隣は４つの大学が集まるカレッジ･タウンで、治安状況もよく、キャンパスは約 1.8 平方キロメートルと米国の大学としては小規模ながら、カトリック系大学らしい落ち着いた美しい風景が広がっている。

b. アジアパシフィックテクノロジー&イノベーション大学（マレーシア）

Asia Pacific University of Technology & Innovation (APU) は、1993 年に前身である Asia Pacific Institute of Information Technology (APIIT) が 2004 年に私立大学として設立した技術工学、ビジネスの大学。発展目覚しい東南アジアの中心地、クアラルンプール南部にキャンパスがある。
プログラムでは、６レベルに分かれ、東南アジア、中央アジア、東アジア、中東などから集まった学生と共に英語力を鍛える。三つの文化が共存するマレーシアでは英語が共通語として広く使われており、コミュニケーションのための英語を学べる。

b. 復旦大学（中国）

上海市中心部から北東へ約 5㎞の場所にある 1905 年創立の総合大学で、北京大学と双璧をなす重点大学。科学技術･経済･管理･生命科学などの研究機関や各種の研究所がある。上海の活力を肌で感じながら、中国語学修を行う。

B セメスター留学

セメスター留学は、高い語学能力習得を目的に４カ月間の留学を行うプログラムです。平成３０年度は、ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学、カナダ・マニトバ大学、米国・ミズーリ大学、台湾・南台科技大学、中国・復旦大学へ派遣予定です。２年生以上であれば、学科・学年を問わず参加できますが、各プログラムは２年生の参加を想定して準備されています。また、派遣先は変更の可能性があります。詳細は説明会で必ずご確認ください。

1. 英語圏セメスター留学

概要

➢ **参加対象**	本学学部生（留学開始時の学年は２年生以上である必要があります。）
➢ **主な応募資格**	・TOEIC® Listening and Reading テスト 550 点または TOEFL ITP/PBT480 点（マニトバ大学のみ 500 点）ただし、平成 28 年４月以降に受験したスコアに限ります。 ・セメスター留学参加の前年度後期に、修学相談の対象となっていないこと。
➢ **単位認定**	本学での所属学科・学年、留学先により異なりますが、８～ 14 単位程度が認定される予定です。概要は募集要項で確認してください。
➢ **準備、申込み、留学期間**	留学申込みまでに基準の英語テストスコアを入手する必要があります。 留学する年の２月に説明会を行い、３月上旬を申込み締切とします。 各留学先申込者が定員に達しない場合は、４月上旬を締切に追加募集をいたします。 申込締切時点で定員を上回った場合、留学前年度のＧＰＡ上位者の参加を優先します。 留学は８月下旬 /9 月上旬から 12 月中旬 / 下旬までの約４カ月を予定しています。
➢ **留学中の学費、奨学金**	本学には通常通りの学費を納入する必要があります。 セメスター留学参加者は本学からの奨学金（３５万円）に申請することができます。 また、上記の奨学金とは別に、成績優秀者には「学習奨励金」（１０万円）が留学終了後に授与されます。平成 27 年度には７名の英語圏セメスター留学参加者のうち基準を超えた２名が奨励金の対象となりました。

a. クライストチャーチ工科大学（定員 ８名）

➢ **留学先**	ニュージーランド、南島最大の都市 Christchurch に位置する国立工科大学。
➢ **プログラム概要**	Language Self Access Centre（外国語自習施設）や図書館などを利用しながら、多様な留学生とともに英語コミュニケーション力を向上させる。プログラム後半では、週８時間以上のボランティアに参加し、実際の職場で英語コミュニケーションを実践し、将来の就業にも備えます。ホストファミリー宅に滞在し、日本語が通じない家族に囲まれて生活することで、ニュージーランドの文化理解を促進し、英語力の向上も目指す。

b. マニトバ大学（定員 ８名）

➢ **留学先**	カナダ、マニトバ州 Winnipeg に位置する州立の総合大学。
➢ **プログラム概要**	IEP(Intensive English Programme)-Business に参加する。中級から上級の英語学修者が対象で、ビジネスで活用可能な英語を中心に学修する。このプログラムの半分は外国人英語学修者の上級者向け授業で、Language Stream と呼ばれ、正確かつスムーズな英語コミュニケーションスキルの獲得を目指す。残り半分はビジネス英語とビジネスの基本的な考え方を学ぶ授業で、Business Stream と呼ばれる。

c. ミズーリ大学（定員 8名）

➢ **留学先**　米国、ミズーリ州 Columbia に位置する、州立総合大学。

➢ **プログラム概要**　LEAD(Leadership through English Advancement & Development) Program は、州を代表する学園都市という環境を利用し、授業・交流・職場体験を通じ英語コミュニケーション力と米国社会への理解向上を目指す。また、クラスメイトとなる東アジア各地からの留学生との交流を通じてアジアに関する認識を深める機会ともなる。プログラム後半には職場体験が組み込まれており、参加学生は職場体験を目標に英語学修を行う。宿泊にはキャンパスに隣接する学生会館を利用。東アジアの留学生と共同生活を行う。

クライストチャーチ工科大学セメスター留学参加　経営学科　吉田　奈津美

留学中一番心がけたことは、勉強と遊びのバランスです。授業は３時に終わるのでその後の時間の使い方がかなり大切です。そこで、各種英語検定問題集をはじめ、DVD や文法書、語彙書など、英語学習教材がなんでも揃う「エルサック」という部屋に放課後は行き、多くのクラスメートと教えあって勉強しました。そして、ホストファミリーが用意する６時の夜ご飯に間に合うよう帰りました。また、息抜きをする時は、みんなでカフェ巡りや教室でのおしゃべりを楽しみました。

授業は日本人や中国人がほとんどだったのでペアを作るときは日本人とならないように心がけました。また、積極的に発表や意見を言い、わからないことをそのままにせず、受動的にならないように気をつけました。結果としてクラスの雰囲気も明るくなり、みんなが意見を言い勉強しやすいクラスになったと思います。その中で、表現方法がうまく思い浮かばない時は言葉のニュアンスが同じもっと簡単な言葉を使えば相手とコミュニケーションがとれると気づきました。こうしたことの積み重ねで、受動的にならずに主体的に活動できるようになったと思います。

マニトバ大学セメスター留学参加　経営学科　小川　浩奈

数ある中でマニトバ大学を選んだ理由は、英語でビジネスを学ぶ科目があり、経済の単位が認定されるからです。また、ウィニペグはカナダの中でも自然豊かな田舎で、治安が良いというのもポイントでした。

私が留学中に心がけたことは、２つあります。１つは、外国の方となるべく交流し、英語を話す機会を増やすことです。そのため、週に１回「Language Exchange」という日本語学習に興味のあるマニトバ大生と日本人留学生の交流会に参加して友達を作り、その後自分から連絡を取って休日に遊びに行ったりしました。また、留学プログラムの学生以外とも交流をしたかったので、ダンスサークルのオープンハウスなどに足を運びカナダ人学生との交流機会を増やしました。２つ目は、日本ではなじみのないようなイベントには必ず参加したことでした。週に３回留学生のために行われるアクティビティがあり、その中でも週末のカナダならではの様々なアクティビティ（アイススケートやハロウィンパーティー、カボチャのカービングなど）には積極的に参加しました。

ミズーリ大学セメスター留学参加　法律学科　佐藤　羽夏

アメリカンカルチャーのクラスで行った小学校でのアジア文化紹介では、日本文化紹介のリーダーになり、他の留学生と小学生に日本文化をゲームやクイズを通して紹介。他にもフードバンクや地域の観光施設などへのフィールドワークを体験し、アメリカの文化について直接触れた。国際関係に興味があった私は、４日間の職業体験で大学のインターナショナルセンター、特にアジアンセンターでオフィスワークを体験。アメリカ学生向けの留学プログラム、また日本からの留学生を迎える準備、電話対応など、とても貴重な体験ができた。教授とのミーティングでは話の進行が早く理解できないところが多かったが、教授が私に話す機会をくださったので嬉しかった。職場の雰囲気はかなりカジュアルで、日本にはない雰囲気を味わえた。

授業では、日本では経験のなかったプレゼンテーションや様々なプロジェクトを経験。他の学生の良いところを真似しながら、自分なりの方法を確立した。同じ授業でも毎回様々な視点から学べ、新鮮さを感じるようなプログラムで飽きることなく集中して受けることができた。他にも、キャンプやショッピングモール、バレーボール大会などの週末のイベント、フィールドトリップ、様々なプロジェクトで毎日が非常に充実していた。

毎日同じ少人数のメンバーで授業をしていたので、発言しやすくとてもいい環境だった。日本ではほとんどディスカッション経験がなく、自分の意見を持つことすら難しかったので、初めは英語での発言など不可能に思えた。しかし表現を身につけるにつれて、少しでも思っていることがあれば発言するようになった。他の学生に賛同したり、異なる意見を聞きながら自分で考えようとする癖がついた。

寮では同じプログラムの中国人、韓国人と同じ部屋で共同生活をした。同じアジア人でも食事のマナー、時間の概念、誕生日の祝い方から日々の生活の至る所に違いがあった。戸惑ったこともあったが、お互い自分の考えや、やり方を押し付けず、直せるところは直し、また良いと思ったら真似してみるようになった。気づいた時にその違いを話すようになったことで大きな誤解が生まれることもなく、日本、中国、韓国、アメリカではどうなの？という会話が日常になっていて、違いを発見することが楽しくなっていた。価値観が違うのは育った国、環境が違うから当たり前なので、違いを受け入れる事がとても重要だと思うようになった。この共同生活を通じて文化の違いだけでなく、自分の価値観と違うところを受け入れることが、前よりも柔軟になった。なぜ生まれた国が違い、年も違うのに分かり合えるのだろう、一緒に楽しむことができるのだろうと、ふと不思議に思うことがあった。しかしそれがとても嬉しかったし普通になっていった。

英語圏セメスター留学参加費目安

平成 29 年度の実績に基づく参加費実費目安 (為替レート等が今年度と異なります)

【マニトバ大学】

Can$1＝￥90.23

授業参加費 (Can$5,100)	￥460,173
寮費・食費 (Can$4,800)	￥433,104
語学研修・試験費用	￥23,750
雑費	￥10,000
航空券	￥198,360
海外旅行保険	￥47,164
ビザ取得費用 ($14,Can$7)	￥2,700
現地でのその他費用	￥260,000
計	**￥1,425,251**

【ミズーリ大学】

US$1＝￥112.42

授業参加費 ($5,800)	￥652,036
寮費 ($1,400)	￥157,388
その他活動費 ($1,740)	￥195,611
語学研修・試験費用	￥23,750
雑費	￥10,000
航空券	￥227,050
海外旅行保険	￥47,164
J1 ビザ取得費用 ($340)	￥40,000
現地での食費･その他費用	￥300,000
計	**￥1,652,999**

【クライストチャーチ工科大学】

NS$1＝￥83.57

授業参加費 (NZ$7,815.2)	￥653,116
ホームステイ費(一日2食付)(NZ$4,660)	￥389,436
語学研修・試験費用	￥23,750
雑費	￥10,000
航空券	￥162,000
海外旅行保険	￥49,174
ビザ取得費用	￥6,000
現地での食費・その他費用	￥240,000
計	**￥1,533,476**

2. 中国語圏セメスター留学

概要

➢ 参加対象

中国文学科 中国語教養プログラム選択者（2 年生全員）
2 年生以上の全学部学生

➢ 留学先

南台科技大学（台湾、台南）
復旦大学（中国、上海）

➢ 主な応募資格

＜共通要件＞
セメスター留学参加の前年度後期に修学相談の対象となっていないこと。

＜中国文学科＞
セメスター留学参加の前年度までに、下記の (ア) ～（ウ）のいずれかの条件を満たし、且つ中国文学科専門科目の学科基礎科目のうち「中国語基礎演習」「中国語演習 1」のいずれか 1 科目の単位を修得していること。

（ア）HSK（漢語水平考試）2 級以上に合格。HSK 5 級及び 6 級の場合は 180 点以上。
（イ）中国語検定 4 級以上に合格。
（ウ）共通教育プログラムの中国語科目（「中国語Ⅰ～Ⅳ」、「入門中国語」）のうち、いずれか 4 単位（2 科目）以上修得していること。

＜その他の学科＞
セメスター留学の前年度までに、下記の (ア) ～（ウ）のいずれかの条件を満たしていること。

（ア）HSK（漢語水平考試）2 級以上に合格。HSK 5 級及び 6 級の場合は 180 点以上。
（イ）中国語検定 4 級以上に合格。
（ウ）共通教育プログラムの中国語科目（「中国語Ⅰ～Ⅳ」、「入門中国語」）のうち、いずれか 4 単位（2 科目）以上修得していること。

※平成 28 年度以前入学者については国際交流課で確認してください。

➢ 単位認定

所属学科・学年により異なりますが、最大 14 単位が認定される予定です。
概要は募集要項で確認してください。

➢ 準備、申込み、留学期間

留学する年の 1、2 月に説明会を行い、4 月上旬を申込み締切とします。
平成 30 年度の留学は 9 月上旬から 1 月中旬までの約 4 カ月を予定しています。

➢ 留学中の学費

本学には通常通りの学費を納入する必要があります。
セメスター留学参加者は本学からの奨学金（35 万円）に申請することができます。
また、上記の奨学金とは別に、成績優秀者には「学習奨励金」（10 万円）が留学終了後に授与されます。平成 28 年度には 16 名の中国語圏留学参加者のうち基準を超えた 2 名が奨励金の対象となりました。

※平成 30 年度は、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度（協定派遣）に採択されました。詳細は p15 を参照してください。

➢ 留学の目標

参加者は全員、留学前後に HSK を受験します。留学中に 1 級以上レベルアップすることを目標とします。

中国語圏セメスター留学参加費目安

平成 29 年度の実績に基づく参加費実費目安 (為替レート等が今年度と異なります)

【南台科技大学】

	US$1＝￥110.21
授業参加費・寮費 (US$3,000)	￥330,654
事前語学研修費用	￥10,000
航空券（含 ビザ取得費用）	￥107,660
海外旅行保険	￥58,292
HSK（4 級、5 級）受験料	￥13,478
雑費	￥20,000
食費・教材費・携帯電話・その他費用	￥250,000
計	￥790,084

【復旦大学】

	1CNY＝￥16.20
授業参加費 (CNY10,500)	￥170,150
寮費	￥130,000
事前語学研修費用	￥10,000
航空券（含 ビザ取得費用）	￥82,360
海外旅行保険	￥58,508
HSK（4 級、5 級）受験料	￥13,478
現地携帯電話初期設定費用	￥2,216
雑費	￥20,000
食費・教材費・携帯電話・その他費用	￥250,000
計	￥736,712

C 協定留学

協定留学は、海外協定校へ交換留学生として学ぶ留学で、留学先での学費は免除されます。現地の学生と共に学部授業に参加する留学と、留学先で話されている言語を学ぶ語学留学があります。

概要

➢ 参加対象　留学開始時点で本学に２学期以上在学している本学学部学生。

➢ 主な応募資格

英語圏	A カナダ、マニトバ大学	TOEFL-PBT/ITP550点、TOEFL-iBT 86点、IELTS 6.5
	B 米国、ビンガムトン大学	TOEFL-PBT/ITP550 点、TOEFL-iBT 80 点
	C 英国、ﾖｰｸ・ｾﾝﾄ・ｼﾞｮﾝ大学	IELTS 6.0（かつ全ての項目において 5.5 以上）

中国語圏	D 中国、南開大学	HSK: 漢語水平考試４級以上※、中国語検定３級以上、TOCFL: 華語文能力測験 (聴力・閲読) 基礎級以上のいずれかを取得している
	E 台湾、南台科技大学	
	F 中国、復旦大学中文系	HSK: 漢語水平考試５級 180 点以上※、中国語検定２級以上、TOCFL: 華語文能力測験 (聴力・閲読) 進階級以上 のいずれかを取得している

※ HSK 漢語水平考試の基準についての詳細は、国際交流課までお問い合わせください。

その他	G 韓国、京畿大学校	韓国語能力試験５級相当以上
	H ベトナム、ハノイ大学	ハノイ大学のベトナム語コース受講希望者…国際交流課までご相談ください。 ハノイ大学の正課一般科目受講希望者… 英語圏の条件と同じです。

➢ 準備、申込み、留学期間　留学する前の年の 11 月頃に説明会を行い、出願期間は翌１月とします。
留学期間は半年（1 学期間）または１年間（2 学期間）です。
「休学」ではないので、協定留学をしても４年間での学部卒業も不可能ではありません。

➢ 選考　提出された書類、筆記試験、面接（外国語、日本語）および派遣先国での適応能力等を総合して選考されます。筆記試験、面接の実施日は、２月上旬を予定しています。

➢ 留学中の学費　留学期間中の協定校への学費は原則として免除されますが、本学への学費は全額納入が必要です。

1. 協定留学の目的

➢ 学部授業留学の場合　留学先大学の学部授業に参加します。

➢ 語学留学の場合　留学先国・地域の語学を学びます。

2. 協定留学の単位認定

➢ 学部授業留学の場合　留学先で取得した単位は、30 単位を限度として要卒単位への単位認定を申請できます。

➢ 語学留学の場合　留学先で取得した単位は、30 単位を限度として要卒単位への単位認定を申請できます。ただし、認定される単位数は非常に限られます。

3. 協定留学対象校

協定留学が可能なのは、下記の協定校に限られます。また、「学部授業留学」のみが可能な大学もありますので、ご注意ください。なお、協定留学生としての派遣は「学部授業留学」対象者が優先されます。

	学部授業留学	語学留学
マニトバ大学（カナダ）	○	
ビンガムトン大学（米国）	○	
ヨーク・セント・ジョン（英国）	○	
復旦大学中文系（中国）	○	

	学部授業留学	語学留学
南開大学（中国）	○	○
南台科技大学（台湾）	○	○
京畿大学校（韓国）	○	○
ハノイ大学（ベトナム）	○	○

4. 奨学金

「國學院大學協定留学及び認定留学奨学金制度」(2 学期間 30 万円、1 学期間 15 万円) が適用されます。また、日本学生支援機構による「1 年以内の海外留学」を対象とした奨学金が適用される場合があります。

5. 認定留学

認定留学は、休学することなく、海外の大学に１学期間または２学期間留学し、本学での単位が認定される可能性のある留学制度です。世界中のどの大学についても取得単位認定の道がひらかれている長所の反面、本学にも留学先大学にも学費を払う必要がある短所があります。「休学」ではないので、認定留学をしても４年間で学部を卒業できる可能性があります。

Ⅲ. 休学による海外留学

「海外の語学学校、専門学校に１年間通う」など本学の制度に当てはまらない留学を目指す場合、休学制度の利用が可能です。それぞれ、担当部門で詳細をお尋ねください。

大学院生：　大学院事務課
学 部 生：　休学について…… 教務課・たまプラーザ事務課
　　休学（海外留学）による授業料等減免について…… 学生生活課・たまプラーザ事務課

休学による留学には、「プログラム、学校、留学先の選択の幅が広がる」というメリットがある反面、「卒業が遅れる」「手続き・安全管理をすべて自分で行う」等のデメリットもあります。留学先で得たいもの、そのために必要な負担、卒業までの計画等を考慮して、検討してください。

[参考：授業料減免について]

下記は参考情報としてご利用ください。休学して留学する予定の学部生は、事前に学生生活課・たまプラーザ事務課で必ず最新の授業料減免に関する説明を受けてください。

1. 対象となる留学の条件

① 休学者個人の私費による、「語学研修等」を目的とする留学であること。
② 留学する在外研修機関の在学期間は、休学期間が１年の場合
・当該年度４月１日から翌年３月 31 日までの間に２８週以上
③ 留学する在外研修機関の在学期間は、休学期間が半期の場合
・前期４月１日から９月 30 日　→　14 週以上
・後期 10 月１日から３月 31 日　→　14 週以上
④ 留学する在外研修機関の在学期間は、休学期間が当該年度後期 10 月１日から３月 31 日（半期）　引き続き次の年度前期４月１日から９月 30 日（半期）の場合
・１年の在学期間と見なし、２８週以上在学期間を条件とする。
ただし、減免額は半期、半期の扱いとする。
⑤ 受入先研修機関及び教育内容（語学研修等）が証明できること。
⑥ 受入先研修機関から在学期間、語学研修等を受けたことの証明書が取得できること。

※ 留学以外の各種活動（ボランティア・インターンシップ等）は減免の対象となりません。自分が計画する留学が減免の対象となるかどうかは留学前に学生生活課・たまプラーザ事務課で確認してください。

2. 休学手続

⇒『休学願』を教務課・たまプラーザ事務課へ提出してください。
⇒ 休学手続日から 30 日以内に『休学（海外留学）による授業料等減免願』、『留学計画書』、『誓約書』を学生生活課・たまプラーザ事務課へ提出してください。
上記書類は留学前（渡航前）に必ず提出をしてください。事後の申請は一切認めませんのでご注意ください。
上記書類の書式は、学生生活課・たまプラーザ事務課で受取ってください。

3. 減免額

⇒ 休学期間が１年の場合：
授業料及び維持運営費の全額、並びに施設設備費の２分の１
⇒ 休学期間が前期または後期の場合：
授業料の２分の１、維持運営費の全額及び施設設備費の４分の１
学生生活課に申請された「授業料等減免願」に基づき、減免後の金額を明記した振込用紙を保証人宛に送付いたしますので、大学が指定した納入期限までに納入してください。

4. その他

休学期間終了後（復学後）の手続き等については、学生生活課・たまプラーザ事務課の指示に従ってください。

Ⅳ. 学内奨学金情報

國學院大學と協定を結ぶ海外の大学への留学を希望する学生に対して経済的支援負担を減らし、支援する制度です。詳細は、国際交流課へ問い合わせをしてください。なお、学外団体による奨学金については P.15 をご参照ください。

1. セメスター留学

a. 國學院大學 セメスター留学 助成金制度（給費）

➢ 目的	本学の海外協定校への４カ月間の留学（セメスター留学）参加を奨励し、留学に係る資金を援助することを目的とする。
➢ 給付額	35 万円（年間授業料の半額相当額）
➢ 対象	セメスター留学に参加する者
➢ 採用数	45 名（平成２９年度実績）

b. 國學院大學 セメスター留学 学習奨励金制度（給費）

➢ 目的	本学の海外協定校への４カ月間の留学（セメスター留学）においてすぐれた学修成果を収めた学生に対し、奨学金を付与し、勉学を奨励することを目的とする。
➢ 給付額	10 万円
➢ 対象	セメスター留学により顕著な学修成果をあげた者
➢ 採用数	若干名

➢ 選考方法・基準（今後変更の可能性があります。）

【英語圏】

A. 基準とする標準テスト：TOEIC® Listening & Reading Test
B. 成績優秀者基準
（1）セメスター留学後（留学年度の 12 月から３月まで）の TOEIC® 試験において 800 点以上を記録した者。
（2）セメスター留学後（留学年度の 12 月から３月まで）の TOEIC® 試験において 730 点以上を記録した者のうち、セメスター留学以前（留学前年度の４月～留学年度の９月）の TOEIC® で記録した点数と比較し、留学後の点数が 150 点以上上昇した者。
（3）TOEIC® のスコアは国際ビジネスコミュニケーション公開テスト、國學院大学での TOEIC-IP、留学先国での公式公開テスト、留学先教育機関での団体特別受験のものを採用する。

【中国語圏】

A. 基準とする標準テスト：HSK（漢語水平考試）
B. 成績優秀者基準
以下の (1) ～ (2) のいずれかの条件を満たす者。
（1）セメスター留学実施年度の６月から９月までの HSK ４級試験において総得点 180 点未満の者のうち、セメスター留学後（留学年度の 12 月から３月まで）の HSK ５級試験において総得点 210 点以上、又は HSK ６級試験において総得点 180 点以上を記録した者。
（2）セメスター留学以前（留学前年度の４月から留学年度の９月）の HSK ４級試験、又は同５級試験において総得点 180 点以上を記録した者のうち、セメスター留学後（留学年度の 12 月から３月まで）の HSK ５級試験において総得点 240 点以上、又は同６級試験において総得点 180 点以上を記録した者。

2. 協定留学・認定留学

國學院大學 協定留学及び認定留学奨学金（給費）

➢ 目的	本学の海外協定校への協定留学生として選考された学生、又は認定留学生として認められた学生に対し、留学中の学業を奨励するとともに、経済援助を行うことを目的とする。
➢ 給付額	１学期間 15 万円　２学期間 30 万円
➢ 対象	協定留学又は認定留学により留学する者
➢ 選考方法・基準	学業成績、協定留学選考試験の成績等
➢ 採用数	若干名
➢ 担当窓口	国際交流課

V. 留学のための情報収集

A 学外の奨学金

1. 独立行政法人日本学生支援機構（ＪＡＳＳＯ）の海外留学支援制度（協定派遣）

大学が応募し、各留学プログラムが同奨学金に採択された場合、参加学生に奨学金が給付されます。年度によって採択されるかどうかは変わりますので、ご注意ください。
この奨学金には、他団体等からの奨学金の支給月額が、同奨学金月額を超えてはならないという制約があります。よって支給対象となった場合、國學院大學から給付される奨学金は同奨学金の支給額にあわせて減額されます。また、申請に際してはＪＡＳＳＯの定める条件（本学での成績、家計基準）を満たす必要があります。

※平成３０年度の中国語圏セメスター留学は、この制度（奨学金）に採択されました。
支給額：月額　６万円（給付）（合計支給額：月額６万円×４か月＝24 万円）
対象者：最大８名。セメスター留学参加者のうち、留学前年度までの成績（ＧＰＡ）及び家計状況等を鑑み、決定しました。
備考：上記 JASSO の奨学金対象者については、大学から支給されるセメスター留学助成金の支給額が 35 万円から 24 万円の減額となりました。
このため、JASSO の奨学金 24 万円と大学の奨学金 24 万円の合計 48 万円が支給されました。さらに留学後所定の基準を満たした学生に対しては 10 万円がセメスター留学学習奨励金として大学から支給されますので、全てあわせると最大 58 万円の奨学金となりました。

2. トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム

日本のこれからを担うグローバル人材を育成するために、留学を希望するすべての若者が留学できるように支援することを目的として設立された官民協働の海外留学支援制度です。このプログラムに採択されると渡航費はもちろん、留学に必要な授業料や滞在費等が支給されます。留学したいけれど経済的な理由で二の足を踏んでいた人にはまたとないチャンスです。ただし、採択されるためには「トビタテ！」の趣旨をよく理解し、その趣旨にあった留学・活動である必要があります。また、この制度への申請は所属大学を通じて行う必要があります。留学計画書を作成し、希望する留学先を決め、受入承諾書を用意するなど多くの事前準備が必要ですので、できるだけ早く国際交流課へ相談に来てください。

募集時期：前期　７月～９月中旬　　後期　12 月～２月中旬
詳細：http://www.tobitate.mext.go.jp/

B 留学情報

本学の留学制度以外の手段で留学を目指す方は、早い段階での綿密な情報収集が必須となります。
下記は、留学情報を提供している公的な機関のリストです。

1. 米国	日米教育委員会では留学情報サービス資料室が利用できます。留学アドバイザーがおり、留学相談が可能です。また、各種留学相談会や説明会も開催されます。 http://www.fulbright.jp/study/
2. 英国	ブリティッシュカウンシルの Web サイトで検索が可能です。また、春（３月または４月頃）と秋（10 月中旬）には英国留学フェアが開かれます。 http://www.educationuk.org/japan/
3. カナダ	カナダ大使館 E・H・ノーマン図書館には留学資料コーナーがあります。また、春（3 月または 4 月）と秋（10 月または 11 月）にはカナダ留学フェアが開かれます。 http://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/
4. 留学全般	日本学生支援機構（JASSO）海外留学情報ページで奨学金など各種情報検索が可能です。 http://ryugaku.jasso.go.jp/

本学では、民間の留学エージェントの紹介はしていません。
休学を利用して留学を行う場合にも、公的機関等の情報を利用して、各種手続きを行うことを薦めています。
民間の留学サービスを利用する場合は、目的に合わせて適切な機関を選びましょう。
機関を選ぶための一助として下記の Web ページを参考にしてください。

J-CROSS（一般社団法人 留学サービス審査機構）	留学サービスの会社・団体を選定する際に、参考となるのが J-CROSS（一般社団法人 留学サービス審査機構）の認証です。留学サービスの事業者が遵守すべきルール（機関）に照らし合わせ、基準を満たす会社・団体が認証されています。 基準の内容、認証機関については下記 Web で参照可能です。 http://www.jcross.or.jp/list/

Ⅵ. 国際インターンシップ

本学では留学以外にも、グローバルに活躍するための海外経験を積むことを目的としたインターンシップを行っています。国際インターンシップには、海外インターンシップ、アメリカ初等教育・幼児教育ボランティア TA 研修、日本語教育実習スタディツアーがあります。

A 海外インターンシップ

概要

➢ **参加対象**	本学学部生。語学力の条件はありませんが、TOEIC®450 点以上を推奨します。
➢ **実施時期・期間**	夏期・春期の長期休暇中に３～４週間の期間で実施します。
➢ **募集、申込み**	募集については Web サイトでお知らせします。 募集時期（夏期海外インターンシップは５月、春期海外インターンシップは 11 月）に事前説明会を実施します。申込みは国際交流課で受付けています。
➢ **単位認定**	夏期の参加の場合､2･3 年生は２単位を上限として単位認定申請を行うことができます。 認定にはキャリアサポート課が実施する所定の事前・事後研修を受け、手続きを行う必要があります。
➢ **企画運営**	海外インターンシップは、本学と委託契約を結んだ外部業者が企画運営します。 平成２９年度は、株式会社 JTB コーポレートセールスの企画運営により実施しました。

平成３０年度の海外インターンシップの募集、実施スケジュールは未定です。今後、国際交流課 web ページ等を通じてお知らせいたします。
参考までに、平成２９年度の夏季休暇中に募集があったプログラムの概要をお知らせします。平成２９年５月に募集、説明会等が行われ、６月が参加申込締切となったプログラムです。

a. マレーシア グローバルビジネス プログラム	➢ **期間**	夏期休暇中（8 月～ 9 月）の約 4 週間
	➢ **派遣先**	マレーシア（クアラルンプール）、ベルジャヤ大学関連企業
	➢ **概要**	はじめの 1 週間に英語研修､後半２週間に企業インターンシップ(不動産､金融､飲食､ホテル等)。日本にて出発前に現地とのオンライン面接（英語）があります。
	➢ **参加費**	398,000 円（朝食、昼食、夕食は含まず）
b. ベトナムＦＰＴ大学 グローバルインターン シッププログラム	➢ **期間**	夏期休暇中（8 月～ 9 月）の約 4 週間
	➢ **派遣先**	ベトナム（ダナン）FPT 大学関連企業
	➢ **概要**	前半２週間に英語研修、後半３週間に企業インターンシップ（ビーチリゾート等）
	➢ **参加費**	348,000 円（朝食、昼食、夕食は含まず）
c. ハワイ 海外ロケインターン シッププログラム	➢ **期間**	夏期休暇中（8 月～ 9 月）の中で 15 日間
	➢ **派遣先**	フジテレビ内会議室、ハワイ（ホノルル）、フジテレビ湾岸スタジオ
	➢ **概要**	(事前学習3日間、現地ロケ８日間、事後学習 / 番組収録4日間)
	➢ **参加費**	449,000 円（朝食、昼食、夕食は含まず）

★ 海外インターンシップはこんな人にオススメ ★

・就職活動に向けて、他の学生と自分を差別化したい！自己 PR のネタがほしい！
・巨大アジア・新興国市場は発展がめざましいため、その現場を自分の目で見に行きたい！
・就職は国内でしたいけれど、グローバルな視点をもつために海外経験を積みたい！

B アメリカ初等教育・幼児教育ボランティア TA 研修

概要		
	➢ 内容	将来初等教育・幼児教育の教員を目指す学生が、米国の小学校等を自分の目で視察し、ティーチングアシスタントとして職場体験することで、米国の教育事情について理解を深めます。
	➢ 参加対象	将来小学校教員、幼稚園教諭を目指す全学部学科の学生
	➢ 実施時期・期間	春期長期休暇中（2 月～ 3 月）に 3 週間の期間で実施します。
	➢ 募集、申込み	募集については Web サイトでお知らせします。 事前説明会は 7 月頃、募集は 9 月頃に行います。 申し込みは、たまプラーザキャンパスはたまプラーザ事務課、渋谷キャンパスは国際交流課で受け付けています。
	➢ 企画運営	アメリカ初等教育・幼児教育ボランティア TA 研修は、本学と委託契約を結んだ外部業者が企画運営します。 平成２９年度は、非営利法人 国際教育交換協議会（CIEE）の企画運営により実施しました。

a. 米国 ボランティア 「教師アシスタント」 プログラム	➢ 派遣先	米国ユタ州の公立小学校
	➢ 概要	米国の公立小学校で行われている通常授業にアシスタントとして参加します。 現地での使用言語は、英語です。
	➢ 参加費（目安）	約 43 万円（平成２９年度実績）
	➢ 求められる英語力	英語スコアは不要ですが、英語でのインタビューテストを電話にて受ける必要があります。
b. 米国 ボランティア 「チャイルドケア」 プログラム	➢ 派遣先	米国カリフォルニア州サンフランシスコの小学校、幼稚園
	➢ 概要	イマージョン教育を行う小学校、モンテッソーリ教育の小学校、バイリンガル幼稚園等で、それぞれ日本語で行われているクラスを担当します。 現地での使用言語は、日本語と英語です。
	➢ 参加費（目安）	約 43 万円（平成 29 年度実績）
	➢ 求められる英語力	特になし。ただし、英語で自己紹介シートの記載が必要です。

C 日本語教育実習スタディツアー

概要		
	➢ 内容	台湾の協定校、南台科技大学の日本語サマーキャンプに日本語教師実習生として参加します。夏期休暇中の約 2 週間の短期日本語プログラムの準備、実施を通し、日本語教育に関する知識を高め、実力を高めます。
	➢ 参加対象・ 参加資格	次のいずれかを満たすことが条件です。（選考があります） ・大学院文学研究科に所属し、高度国語・日本語教育または日本語学を専攻する学生 ・日本文学科で日本語学を専攻する学生 ・学部に所属し、 副専攻「日本語教育（日本語教員養成課程）」を選択している学生 ・大学院または学部に所属し、日本語教育に興味を持つ学生のうち、日本語教育を専門とする本学専任教員の推薦がある学生
	➢ 参加費（目安）	約 12 万円（実習費、宿泊費、往復航空券代、海外旅行傷害保険料 等） ※食費・現地での交通費は含まれません。
	➢ 募集、申込み	募集については Web サイトでお知らせします。 募集時期（4 月）に事前説明会を実施します。

Ⅶ. キャンパスでの国際交流

キャンパスにはさまざまな国際交流の機会があり、留学生を含むすべての國學院大學学生、交換留学生の参加を歓迎しています。外国語が苦手でも、はじめてで不安でも大丈夫！国際交流課の職員もサポートします。気軽に参加してください。

1. まずは K-STEP アシスタントに登録しよう

國學院大學に世界中から集まる留学生と一緒に、
1）国際交流促進に貢献する
2）共に日本文化について学ぶ
3）時に留学生の日本での生活をサポートしてあげる
それが K-STEP アシスタントです。応募資格は、『國學院大學の学生であること』のみです。

➢ 主な活動内容

- K-STEP 交換留学生をはじめとする留学生とのさまざまなイベントへの参加
- 留学生の日本語練習パートナー
- その他、留学生への各種サポート

➢ 留学生の出身地域例

米国、カナダ、スペイン、イタリア、中国、韓国、台湾、マレーシア、ベトナム

➢ 登録方法

国際交流課 Web ページの「K-STEP アシスタント」に記載されている要領にしたがって登録してください。イベント等の機会がある度に facebook グループや K-SMAPY よりおしらせメールで連絡します。都度、時間と興味が合えばその活動に参加します。
facebook ページ→ www.facebook.com/groups/871822309526771

2. 国際交流イベントに参加しよう

➢ International Coffee Hour

留学生と日本人学生が自由にお喋りできる場として、学期中は渋谷キャンパスで毎週定期開催しています。事前予約不要。参加を希望される方は、まずは K-STEP アシスタントにご登録下さい。

➢ 日本の文化理解・フィールドトリップ

留学生と共に「日本を学ぶ」ことをその主な目的とし、歌舞伎鑑賞会や博物館見学等、さまざまなイベントを開催しています。要事前予約。

➢ 申込み

www.kokugakuin.ac.jp/student/abroadstudy より
「キャンパス内国際交流」へ

International Coffee Hour

国際交流バスハイク

Ⅷ. グローバル・チャレンジ・プログラム

A グローバル・チャレンジ・プログラムとは

グローバル・チャレンジ・プログラムはグローバル人材基礎力を身につけるために、在学中の正課授業、課外活動への方向性を示したプログラムです。

1. 概要

グローバル・チャレンジ・プログラムは、日本文化を世界に発信できる知識と技能を身につけた、國學院大學にふさわしいグローバル人材を育成するためのプログラムです。日本文化に関する基礎科目で単位を取得のうえ、４つの領域で指定されたグローバル・チャレンジ･ポイントを獲得し、あわせて８ポイント以上を獲得した学生には、「グローバル･チャレンジ・プログラム」のプログラム修了書が交付されます。

2. プログラム修了要件

プログラム修了のためには下記を全て満たしてください。

1）日本文化に関する基礎項目で単位を取得

□「日本文化を知る」「Japan Studies」から６単位以上修得する。
（ただし「Japan Studies」は２単位必修）
※（　）内のテーマが異なれば同一の授業科目名でも複数科目として認められます。

2）グローバル・チャレンジ・ポイントを取得する

□ ①外国語力②海外留学の各領域でそれぞれ、２ポイント以上取得する。
□ 全体で８ポイント以上を取得する

3. プログラムの目的

グローバル・チャレンジ・プログラムは、本学学生が専門教育および教養総合で学修・研究を実践しながら学生生活を送るうえで、併せてグローバル人材としての基礎力を身につける道標となるものです。
このプログラムの修了を目標の一つにして学生生活を送ることで、授業からだけでなく、留学、課外活動等、グローバル人材に向けて総合的な基礎能力を身につけることができます。

4. プログラムの留意点

このプログラムの要件となっている学修内容は基礎的なものであり、学修・研究・語学力ともに更に高い目標を持って研鑽することが推奨されます。更に、本学では異文化・社会理解に焦点を当てた科目も多数開講されています。このプログラムの要件にはなっていませんが、これらの授業を活用し異文化理解を高めることも推奨されます。

※平成２９年度よりポイントの構成が変更されました。平成２８年度以前に登録を済ませている方は、国際交流課までお問い合わせください。

B グローバル・チャレンジ・プログラム申請方法

グローバル･チャレンジ･プログラムを目指す学生は、国際交流課で手続きを済ませてください。グローバル･チャレンジ・プログラムの申請は学年を問いません。２年生以上の学生も随時、申請が可能です。

GLOBAL CHALLENGE PROGRAM

登録中のみなさん用

GCP

セルフ・チェックシート

□ 日本文化に関する基礎科目で単位を取得

授業科目	開講学年	修得単位の必須要件	プログラム修了要件
日本文化を知る	1年生以上	---	□6単位以上
Japan Studies	2年生以上	□2単位以上	

□「日本文化を知る」は（　　）内のテーマが異なれば同一の授業科目名でも複数科目と認められます。

□ グローバル・チャレンジ・ポイントを8ポイント以上取得

ポイント区分	修得ポイントの必須要件	プログラム修了要件
外国語力	□2ポイント以上	□必須要件の4ポイントを含め合計8ポイント以上を獲得 □海外留学、海外渡航経験、国内での国際交流活動については、所定の書式による活動報告を提出
海外留学	□2ポイント以上	
海外渡航経験	---	
国内での国際交流活動	---	

- □ 対象となるのは在学時に受験した外国語検定試験、経験した留学や海外渡航、国際交流活動に限ります。
- □ 外国語力の獲得ポイントは、一言語につき4ポイントが上限です。
- □ 海外留学 / 海外渡航 / 国内での国際交流活動によるポイント取得には、所定の書式による報告書の提出が必要です。
  書式・記入サンプル→https://www.kokugakuin.ac.jp/student/abroadstudy/p1/p8
- □ 同一大学への同一留学プログラムに複数回参加した場合は、ポイントが取得できるのは1回のみとします。
- □ 海外渡航によるポイント取得は、1回の渡航、活動参加で1ポイントを目安としますが、「グローバル人材のための基礎力養成」の観点で国際交流推進部が活動報告書を審査の上決定します。
- □ 国内での国際交流活動によるポイント取得は、「グローバル人材のための基礎力養成」の観点で国際交流推進部が活動報告書を審査の上決定します。

外国語力

ポイント区分		検定試験	4ポイント	2ポイント	現在のポイント
外国語力	英語	TOEIC	730点以上		
		TOEFL(iBT)	70点以上	50点以上	
		TOEFL(ITP)	523点以上	463点以上	
		英検	準1級以上		
	中国語	中検	2級以上	3級	
		HSK6級	180点以上		
		HSK5級	195点以上	180〜194点	
		HSK4級		合格	
		TOCFL(聴力・閲読)	高階級	進階級	
	ドイツ語	ドイツ語検定	2級以上	3級	
	フランス語	フランス語検定	2級以上	3級	
	合計（2ポイント以上必須）				

海外留学

□ 所定の書式による活動報告を提出→HPにてサンプル公開中！

ポイント区分	留学の種類	4ポイント	2ポイント	1ポイント	現在のポイント
海外留学	協定留学	2学期間	1学期間		
	セメスター留学		1学期間		
	夏期・春期短期留学			4週間	
	私費・休学留学	2学期間	1学期間	4週間	
	合計（2ポイント以上必須）				

海外渡航経験・国内での国際交流活動

□ 所定の書式による活動報告を提出
→HPにてサンプル公開中！

ポイント区分	ポイント	内容	現在のポイント
海外渡航	1ポイント	海外ボランティア / インターシップの参加、海外での国際交流活動、観光、その他	
国内での国際交流活動	1ポイント以上	K-STEPアシスタントにおける活動、日本文化の発信、その他	

□ 修了

□ 「修了」のゴールが見えてきたら、まず国際交流課へ

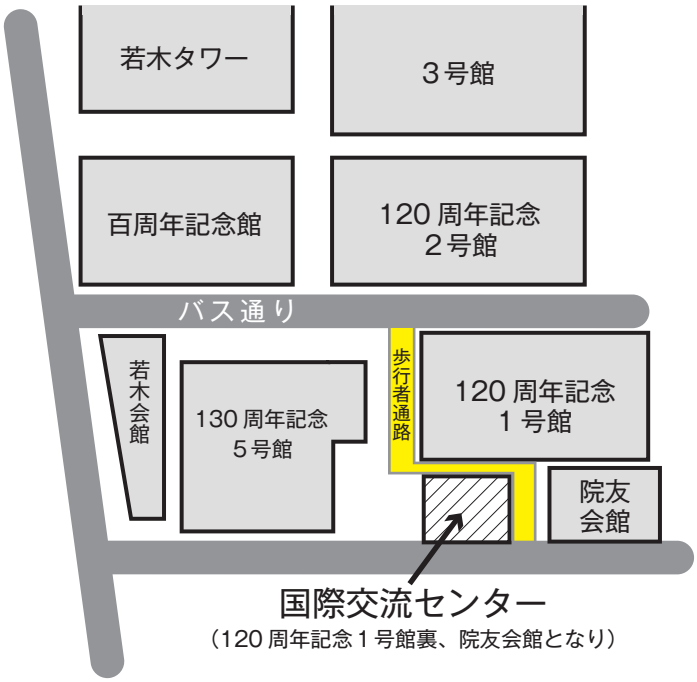
国際交流センターのご案内

渋谷キャンパス 120 周年記念 1 号館裏に位置する国際交流センターは、本学の国際交流の中心機能を担っています。積極的に活用してください。

開館時間は下記のとおりです。

授業日の 9:00 ～ 17:00

なお、長期休暇中も原則平日、土曜の 9:00 ～ 17:00 で開館していますが、入学試験、入学式・卒業式等の大学行事のために閉館することもあります。詳細は、Web ページ等でご確認ください。



① 国際交流課、留学相談

国際交流センター 1 階の国際交流課は、留学プログラム、交換留学生プログラムの企画・運営を行っています。

また、本学学生の留学相談に応じています。希望者は国際交流課 Web ページから申し込んでください。

留学相談の予約　www.kokugakuin.ac.jp/student/abroadstudy

② グローバルラウンジ

国際交流センター 1 階の学生用ラウンジです。国際交流センター内の教室で授業を受けている交換留学生、学部や大学院の留学生、そして、一般の学生が集い、食事をとったり、予習をしたり、そして談笑をしています。利用の条件は「国際交流に興味がある」ことと、本学の学生であることです。

また、不定期に「International Coffee Hour」等の交流イベント「国際交流の集い」を実施しています。国際交流に興味のある学生、留学生が集い交流を実践し、国際交流に興味を持つ新しい仲間とのネットワークを拡げる機会となります。日本語や英語など、各国の言語が飛び交う場となります。

国際交流イベントのスケジュールは国際交流課 Web ページ・Facebook ページでお知らせします。

国際交流の集い　www.kokugakuin.ac.jp/student/abroadstudy
www.facebook.com/groups/871822309526771

③ 語学学修用 PC ルーム

国際交流センター 2 階にはコンピュータルームが準備されています。この部屋が他の PC ルームと異なるのは「声を出してもよい」点です。Web 上の教材や CD-Rom 教材を使って声を出しながら語学の練習をしてください。貸し出し用のヘッドフォン（マイクつき）と Skype 利用のためのカメラも準備されています。

國學院大學国際交流課（渋谷キャンパス国際交流センター 1 階）
Phone 03-5778-7061　FAX 03-5778-7062　kokusai@kokugakuin.ac.jp
www.kokugakuin.ac.jp/student/abroadstudy